# 第1学年国語科学習指導案

1 単元・題材 論点をとらえる「調べたことを報告しよう」

(光村図書1年)

#### 2 目標

- 集めた情報を工夫して整理し、目的や意図に応じてわかりやすくレポートにまとめようと している。 (国語への関心・意欲・態度)
- ◎ 伝えたいことが明確に伝わるように、書き方や文章の構成、資料の用い方を工夫して、読みやすくわかりやすい文章にすることができる。(書く能力)
- 適切な指示語や接続語を用いて、書いたり説明したりすることができる。

(言語についての知識・理解・技能)

#### 3 指導観

- 本題材は中学校学習指導要領国語第1学年「B 書くこと」の指導事項「イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。」「ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」を受けて設定されている。レポート(報告)という言語活動の特性は、体験や見聞、研究調査などを、その内容を必要とする人のためにわかりやすく伝えることである。そのためには、相手を分析し、正確な内容を、理解しやすい構成で、平明に叙述することが求められる。中でも、第1学年において、日常的な生活の中から題材を選び、まとめさせることは、レポートの意義、調査の方法、内容を理解させることと、叙述の仕方について学ぶことにつながる。また、各自の情報交換(報告)をすることによって、社会的な通じ合いが生まれ、文化の進歩、ひいては人類の進歩に貢献していくことにつながる。現在、社会では報告文が大きな意味をもっている。そのため中学生のうちから報告文の書き方を身に付けておく必要がある。さらに、その報告文をプレゼンテーションしていく能力も養っていかねばならない。よって、この時期に学習するのにたいへんふさわしい教材である。
- 本学級の生徒は元気がよく、普段から発言する生徒が多い。学級で実施した意識調査から、生活作文・意見文・読書感想文等に関しては半数以上の生徒が「書くこと」に対して好意をもっているという結果が出た。また、話合い活動にも積極的に取り組む生徒や活発に意見を述べる生徒も少なくない。しかし、4月に実施された標準学力テスト(NRT)の「書くこと(書く能力)」においては、全般的に全国比よりわずかに上回る結果が出ているが、「書く事柄や組み立てを考え書く」については若干全国比を下回っている。さらに、論述式の文章に関しては、好意をもっている生徒が半数を下回るという結果であった。その理由として、書く内容や書き出し、段落の構成、接続する語句の用い方がわからないといったことが挙げられた。このことから、論理的な文章の書き方や文章構成について習得できれば、積極的、意欲的に書くことができるようになると考える。
- そこで指導にあたっては、まず、相手に正確にわかりやすく伝えるレポートにするために はどのような要素が必要なのかを考えさせ、順を追って確認させたい。次に、研究調査報告 の場合、考察、結論などの文章の構成を明確にし、図表・写真などの資料の用い方を工夫す

ることが必要になってくる。その上で、既習事項も活用しながら報告内容を決めることを理解させたい。また、相手意識や、目的意識を明確にする必要があることに気付かせたい。さらに、調査方法については、インターネット以外に、図書館の利用等を通して情報を得ることも必要であり、複数の資料に当たることで、確実な確認ができることを指導したい。

1時間目は、レポート例を利用して構成の仕方を考える活動を取り入れることで、レポートの書き方を定着させたい。そして、図や表、グラフなどの資料を加えると、よりわかりやすくなることを確認する。

2時間目は、実際に資料から読み取れることを文章にしてみることや、見出しを考えさせることも取り入れることにする。

3時間目の本時では、レポートのまとめ方を考えさせ、その際に、自分の意見がしっかり述べられている必要があることを学ばせたい。いくつかの高齢者の生活に関するグラフ(3種類)を提示し、そのうちの一つのグラフから読み取れることと、考えたことを箇条書きで書かせ、それを小グループで意見を出し合い、ホワイトボードにキーワードをまとめて発表させる。その後、個人の活動に戻り各班の発表も参考にしながら、150字~200字でまとめる活動を取り入れたい。その際、まず結論を述べ、次に根拠を挙げて最後に再び意見をまとめるという双括式を取り入れ、書き方の「型」を提示し、全生徒が書き上げられるように工夫したい。最後に、各班で代表者を選び、全体に発表させ、既習した学習用語を用いて評価し合う場を設けることで、よりよいまとめ方の定着を図りたい。

今回は、わかりやすいレポートのまとめ方を学習することを重視したため、実際に個々にレポートをまとめるという活動は取り入れていない。その後の総合的な学習の時間に「ふるさとを知る」という目的で「佐土原探訪」という活動を行う。調べたこと、実際に学んだこと等をレポートにまとめる際に、今回学習したことを実践させたい。

## 4 指導計画と評価計画(全4時間)

	出等可回了时间可回 (主车时间)			==
時	学習内容及び学習活動	国語への関心・		言語につい
	「蓄えたい学習用語・語彙」		書く能力	ての知識・
間	を生かした学習活動の場面	意欲・態度		理解・技能
	○学習の概要を知り、本単元の学習計画	○わかりやすい	○内容に応じた形	
	を確認し見通しをもたせる。	レポートを書	式の資料を用い	
	わかりやすいレポートとはどのよう	くためのポイ	てまとめること	
	なものだろう?	ントを考えよ	が、わかりやすく	
		うとしてい	伝えるために効	
1	○レポート例を見て、わかりやすいレポ	る。〈観察〉	果的であること	
	<ul><li>一トの書き方を知る。</li><li>○レポート例の特徴からわかりやすいレ</li></ul>		を理解すること   ができる。	
	ポートのポイントを確認する。			
	既習事項を用いて、わかりやすいレ		- ・発表〉	
	ポートについて説明する。			
	○前時の復習をし、本時の学習の流れと	○図表を用いた	○資料から読み取	
	目標を確認する。	説明の効果等	ったことを文章	
	図表を読み取ろう。	を考え書こう としている。	にすることがで きる。	
2	・レポート例から図表を読み取る。		くりつかっト	
	<ul><li>・読み取ったことを文章にする。</li></ul>		- ・発表〉	
	・見出しを考える。		7_4 4/	
	○学習を振り返る。			
	○前時の復習をし、本時の学習の流れと	○図表から読み	○資料から読み取	
	目標を確認する。	取ったことや	ったことと、自分	
	レポートをわかりやすくまとめよう。	自分の意見を	の意見を、わかり	
		わかりやすく	やすい文章にま	
	・レポートの「まとめ」の部分を考える。	書こうとして	とめることがで	
	・グラフを見て気付いたことを個人で箇	いる。	きる。	
	条書きにする。	〈観察〉	〈ワークシート	
3	・小グループでキーワードを記入し、全		・発表〉	
本時	体で発表し掲示する。			
一一	・150字~200字にまとめる。			
	・各班で「まとめ」を発表し、代表者を			
	決定する。			
	・各班の代表者数名が全体で発表する。 ・代表者の発表に対しての意見を交換す			
	- ・代衣有の発衣に対しての息見を父撰す - る。			
	既習事項(学習用語)を用いて評価し			
	1 / 0			

	○前時の発表の続きを行う。	○既習した学習	
	・代表者の発表を聞く。	用語を使い発	
	・代表者の発表に対しての意見を述べ	言しようとし	
4	る。	ている。	
	○わかりやすいレポートの書き方、まと	〈発表〉	
	め方の確認をし、「佐土原探訪」で実際		
	にレポートを書くことを知る。		

#### 5 本時の目標

○ 資料から読み取ったことと、自分の意見を、わかりやすい文章にまとめることができる。 (書く能力)

#### 6 蓄えたい学習用語・蓄えたい語彙

蓄えたい学習用語		蓄えたい語彙
レポート 根拠 結論 段落 構成	え 図表	
箇条書き キーワード 双括式 村	目手意識	
目的意識 ナンバリング		

### 7 学習指導過程

	子百拍导迥性		
段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<ol> <li>本時の学習の流れと目標を確認し、見通しをもつ。</li> <li>レポートをわかりやすくまとめよう。</li> </ol>	<ul><li>○わかりやすいレポートとはどのようなものかを確認をする。</li><li>○前時に学習した資料の使い方を想起させる。</li><li>○既習の学習用語を確認させる。</li></ul>	
展	<ul> <li>2 資料から読み取ったことを箇条書きにする。【個人】</li> <li>3 個人でまとめた意見を小グループで話し合い、キーワードを発表する。 【小グループ】</li> </ul>	<ul><li>○グラフからわかることをメモさせる。</li><li>○メモをもとにホワイトボードに箇条書きでまとめさせる。</li><li>(4名:7班、3名:2班 計9班)</li></ul>	I
開	<ul><li>4 資料から読み取ったことと、それにもとづく意見をまとめる。【個人】</li></ul>	○書き方の「型」を提示し、ワークシート に意見をまとめさせる。	

		<ul><li>○1班:2分で発表</li><li>○これまでの既習事項(言葉)を活用して 感想・意見を述べるようにさせる。</li></ul>	
ま	8 本時のまとめをし、次時に発表の続き	○次時の発表者にも意欲をもたせる。	
٤	をすることを知る。		
め			

#### 8 評価の視点と評価項目

評価の視点	評価項目(☆評価方法)		
I 資料から読み取ったことと、自分の意見を、	<ul><li>グループで話し合ったことをもとに、読み取</li></ul>		
わかりやすい文章にまとめることができた	ったことと自分の意見をわかりやすくまと		
か。	めている。		
	〈☆ワークシート・発表〉		

### 9 板書計画

